

高校生体験事業の報告

社会局広報部担当理事

守 一彦

【開催事業内容】

日 時 2023年6月11日(日) 11時00分～12時50分

会 場 荘銀タクト鶴岡

内 容 学術大会の場を会場として、理学療法士に関心のある高校生を対象に理学療法士との座談会を開催した。

参加者 36名

活動報告

予想を上回る36名の高校生の参加者があり、高校生の年齢層は1～3年が混在していましたが、庄内地区だけでなく、村山地区、最上地区の学校からの参加も多く、理学療法士という職業に対する関心の高さを感じました。

当日は、会員3名による全体での講話、ポスター演題発表会場の見学、4班に分けての会員とのグループ座談会を行いました。

11時からの全体講話は講師の方(柴田拓哉、早坂慎也、佐藤泰)の講話の内容も大変充実しており、多面的な情報がつまったもので、わかりやすく工夫された内容で、高校生には好評でした。

その後、班ごとに担当の会員が引率してポスター会場を見学し、会議室に戻った班からグループ座談会を実施しました。

当日参加した高校生からいただいたアンケートをみると、参加してよかった、聞きたい情報を得ることが出来たと、高校生の感想は好評価でした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行にはなりましたが、社会情勢を鑑み、会員の職場での高校生の理学療法体験事業は難しいと考え、代替え案として高校生との座談会という事業を企画し実施しました。次年度以降の事業については検討が必要ですが、高校生たちは、職業選択の大事な情報源として理学療法士との座談会などの対話の機会を望んでいると感じました。今回の活動について、公益事業推進部理事の早坂慎也氏から協会の広報に寄稿いただき、リガクラブに掲載されています。ぜひご覧ください。